

サルモネラ検出用 DD チェッカー MLCB 寒天培地

*【全般的な注意】

1. 本品は、微生物の取り扱いに習熟した人の指導のもとにバイオハザード対策を実施した上で使用して下さい。
2. 使用説明書以外の使用目的、使用方法については保証を致しません。
3. 培地が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

MLCB 寒天培地

サルモネラを特異的に検出する MLCB 寒天培地です。
(他の培地と区別するため、シャーレに "MLCB" と印字してあります。)

【使用目的】

環境、食品由来のサルモネラの検出

【特徴】

サルモネラは腸内細菌科に属するグラム陰性、無芽胞性单桿菌でチフス症、急性胃腸炎、敗血症などの感染病像が知られており、わが国における食中毒の中でも発生頻度の高い主要な原因菌の一つです。

本品は、環境及び食品由来のサルモネラを、簡便かつ特異的に検出するために開発されたものです。

1. スタンプ方式で検体を採取するため、操作が簡単です。
2. サルモネラを選択的に検出できます。

【操作上の注意】

1. 菌種により発育速度が異なりますので、培養中は毎日観察して下さい。
2. 菌によっては発育の遅い場合がありますので、疑わしい検体は記載されている培養時間よりも長く培養して下さい。

【用法・用量（操作方法）】

1. 必要な器具・器材・試薬等

DD チェッカー MLCB 寒天培地

恒温器又は恒温室: 37°C に設定可能なものを使用して下さい。

スタンプできない検体（液体の検査材料及び表面が平滑でない検査材料等）の場合は次のものも用意して下さい。

- ・ 検体が液体の場合：滅菌綿棒（又はマイクロビペット及びマイクロビペット用滅菌チップ 20~50 μL）
- ・ 検体表面が平滑でない場合：滅菌綿棒、滅菌生理食塩液

2. 操作法

- (1) シャーレを必要な枚数だけ袋から取り出し、上下に折り曲げて個々に切り離します。
- (2) シャーレのフタを取り、直ちに培地面を検査材料の表面に密着させて軽く押します。

* 検査材料が液体の場合は、20~50 μL 程度を滅菌綿棒等で培地全面に均一になるように塗抹します。

* 検査材料の表面が平滑でない場合は、滅菌生理食塩液を含ませた滅菌綿棒で検査材料の表面を拭き取った後、培地全面に塗抹して下さい。

* 培地で検査箇所を擦ると寒天表面に傷がついたり剥離したりする可能性がありますので、試験時には検査箇所を擦ららずに軽く押すようにして試験を行って下さい。

* 生育コロニー数が多すぎる場合には検査材料を拭き取ったのちに滅菌生理食塩液などで希釀し、20~50 μL を塗抹すると良好な結果が得られることがあります。

(3) シャーレのフタをして、フタ表面に検査材料名等の必要事項を記入します。

(4) 37°C の恒温器又は恒温室にシャーレのフタを下にして入れ、24 時間培養します。

(5) 培養後、黒色集落を観察します。

【結果の判定法】

1. 判定

黒色集落の有無を観察します。

サルモネラは硫化水素を产生して黒色の集落を形成します。サルモネラ以外の細菌の発育は強く抑制されます。また、発育してもその集落は黒変しないため鑑別は容易です。

2. 判定上の注意

シトロバクターの一部は硫化水素を产生して黒色の集落を形成する場合があるのでご注意願います。

【使用上または取扱い上の注意】

1. 取扱い上の注意

本品はスタンプ法を用いていますが、一般的にスタンプ法の成績は混釀法や拭き取り法の成績と一致しない場合があることが知られています。本品は汚染の程度を知るためのものであり、培地上の集落数は拭き取り法の結果とは必ずしも一致しません。また、本品での成績はいわゆる公定法の成績としては使用できません。

2. 使用上の注意

- (1) 本品は凍結厳禁のため、指定の貯蔵方法で保存して下さい。
- (2) 開封後は速やかに使用し、保存する場合は袋に収め、密閉状態にして指定の貯蔵方法で保存して下さい。
- (3) 本品を直接接触させた後の検査材料の表面は、水で十分に洗浄して下さい。また、本品を皮膚に直接接触させて検査した場合は水で十分に洗浄を行い、異常が認められた場合は必要に応じて医師の処置を受けて下さい。
- (4) 本品を直接接触させて検査した食品検体では、検査後の食用を避けて下さい。

